

令和2年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	ICT発展に向けた日ASEAN共同調査・研究事業			担当部局庁	国際戦略局		作成責任者		
事業開始年度	平成21年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	国際協力課		課長 柴山 佳徳		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第1項第92号			関係する計画、通知等	ODA大綱(平成4年6月30日閣議決定、平成27年2月10日改訂)				
主要政策・施策	IT戦略			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本は、東南アジア諸国連合(ASEAN)の対話国として、日ASEAN情報通信大臣会合等を開催し協力関係を構築してきている。本事業は、日本の技術や知見をASEANに伝えるを通じ、ASEANにおけるICTの発展、人材の育成等に貢献するとともに、我が国ICT産業や技術のASEAN地域への展開を支援するものである。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	ASEANの情報通信技術基金に資金を拠出し、ASEANにおけるICTの発展に資する調査研究、ワークショップ、セミナー等を実施する。								
実施方法	その他								
予算額・執行額(単位:百万円)		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求			
	予算の状況	当初予算	11	11	11	11	11		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	11	11	11	11	11		
	執行額	11	11	11	11				
	執行率(%)	100%	100%	100%	100%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	100%	100%	100%	100%				
令和2・3年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由					
	政府開発援助アジア・太平洋電気通信共同体等拠出金	11	11						
	計	11	11						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標最終年度
								2年度	-年度
	本事業を通じてASEAN各国に日本の情報通信技術・知見等を6件紹介する。	事業を通じてASEAN各国に紹介された日本の情報通信技術・知見の数	成果実績	件	6	4	7	-	-
			目標値	件	6	6	6	6	-
達成度			%	100	67	117	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	目標値の設定根拠:本事業を通じたワークショップやシンポジウムにおいて、ASEAN10カ国の政府関係者に紹介予定の日本企業の情報通信技術(サービス)及び日本政府の情報通信政策等を計上。								
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	3年度活動見込	
	各年度の実施プロジェクトの件数(参考値)	活動実績	件	4	2	1	-	-	
		当初見込み	件	5	3	5	4	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	拠出金/プロジェクト数	単位当たりコスト	百万円	2.8	5.5	11	2.8		
		計算式	拠出金(百万円)/プロジェクト数(件)	11.0/4	11.0/2	11.0/1	11.0/4		

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	V:情報通信(ICT政策)							
	施策	6:ICT分野における国際戦略の推進							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 2年度	目標年度 -年度
		ICT分野に関する協力強化について合意した各国との案件数	実績値	件	37	67	55	-	-
			目標値	件	27	26	26	-	-

本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

ASEANにおけるICTの発展に資するワークショップやセミナー等を実施することにより、ASEANのニーズを踏まえた日本の情報通信技術・知見の紹介や、日ASEAN間の協力枠組み構築、政策合意形成の機会となることから、我が国ICT企業の海外展開に貢献するとともに、ASEAN各国の課題解決への貢献に寄与する。

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、国際貢献と我が国企業の国際展開支援といった政府方針に沿った事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、ASEANとの政府間の関係構築・強化を通じて、その目的を達成するものである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	実施事業は、ASEAN各国の通信担当大臣等ハイレベルで検討・承認されるものである。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費用、使途は、事業目的達成に必要な範囲で、基金への拠出に限定されたものとなっている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	事業実施に際し、日本の関与(日本のICTの紹介等)を求めている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	本基金への拠出及び基金を用いた事業実施に際し、ASEANから高い評価を得ている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	事業実施の成果はASEAN各国に共有されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	事業目的に合致し、資金は適正に支出されている。本基金への拠出及びそれを活用した事業に対しては、ASEAN各国の通信担当大臣等ハイレベルから高い評価を得るなど、日本とASEANの協力関係の構築・強化に貢献している。また、事業実施にあたり、我が国ICTの紹介を行うなど、我が国民間企業の国際展開支援の一助となっている。	
	改善の方向性	基金を管理するASEAN事務局と緊密に連携し、基金の効率的な運用及び実施事業への我が国の関与強化に努める。	

外部有識者の所見

この行政事業レビューの所見ではありませんが、政策評価の測定指標としている「ICT分野に関する協力強化について合意した各国との案件数」の目標設定値について早い機会に再検討されたほうがよいかと思えます。平成27年度～29年度の平均値を使っていると思いますが、この3年間で件数は毎年かなり増えています。未だに同じ目標値を使っているために、このレビューシートだけ見ると、毎年、実績が目標を大きく上回っていて奇異に感じます。(北大路信郷)

行政事業レビュー推進チームの所見

内容改善の内
更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善
所見については、ご意見として承り、今後検討する。更なる経費の効率化を図るため、経費の見直し等を徹底する。

備考								
関連する過去のレビューシートの事業番号								
平成22年度	134	平成23年度	135	平成24年度	129	平成25年度	132	
平成26年度	131	平成27年度	130	平成28年度	127	平成29年度	129	
平成30年度	123							
平成31年度	総務省 (0137)							
※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。								
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">総務省 11百万円</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 60%;"> <p style="text-align: center;">A 東南アジア諸国連合(ASEAN)事務局 11百万円</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">基金を活用したワークショップ等を行う国との 連絡調整、実施結果の日本への報告・管理及び 本拠出金の資金管理を行っている</p> </div> </div>							
	A. 東南アジア諸国連合(ASEAN)事務局				B.			
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
	拠出金	ASEANと共同で実施する調査・研究プロジェクトの経費	11					
	計		11	計			0	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック		

支出先上位10者リスト

A.

No.	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ASEAN事務局	-	ASEANと共同で実施する調査・研究プロジェクトの経費	11	その他	-	-	